

小中一貫教育だより

# 「つなぐ」

～中学校区の実態に応じた取組を求めて～

- 目標をつなぐ
  - カリキュラムをつなぐ
  - 子どもの心をつなぐ
  - 教職員の意識をつなぐ
  - 家庭・地域の絆をつなぐ
- 「小中一貫教育！」



令和5年度（2023年度）  
No.10（2023.12.14）  
担当：熊本市教育委員会事務局  
学校教育部指導課

各中学校区の取組をつなぐ

## モデル校の力合中学校区（カ合小、カ合西小、カ合中）では、 「ユニセフ出前授業」を小中で共通実施！

### 「子どもの人権を大切にするにはどうしたらよいか」

力合中学校区は、小中一貫カリキュラムの柱を、人権学習と道徳として取り組まれています。そこで、国連事務総長特別顧問の高須幸雄氏をお招きして、11月28日（火）午前中はカ合西小学校6年生（116人）、午後はカ合小学校6年生（88人）、29日（水）午前中、カ合中学校1年生（224人）に、「ユニセフ出前授業」を共通実施されました。

授業の前半は、高須氏より世界の子どもたちの人権の現状について説明がありました。普段聞くことができない国連の活動を通しての高須氏の講話に、各学校の児童・生徒は、真剣に聞き入っていました。後半はグループごとに分かれてワークショップを行いました。ワークショップの内容は「子どもの権利条約」の中から①最も大切だと思う権利とその理由、②守られていないと思う権利とその理由、③人権を大切にするにはどうしたらよいかについて考え、まとめるというものでした。

全体発表でたくさん  
の意見を聞きながら  
人権に関する考え  
を深めていきました。  
最後に高須氏より  
「自分自身を大切に  
すること」という言葉  
をいただきました。

○差別・いじめをなくす  
↳ 相手を思いやり  
意見の尊重  
○個性の尊重  
↳ お互いを認めあう

③についてグループでまとめた意見（カ合中）

小中で共通実施した今回の貴重な経験が、力合中学校区の人権学習の充実につながることを期待されます。

講師 国連事務総長特別顧問

高須 幸雄 氏

プロフィール

外務省で、国連日本政府代表部特命全権大使、国連事務局では事務次長（管理局長）を歴任。現在はNPO法人「人間の安全保障」フォーラム理事長、日本ユニセフ協会副会長



「子どもの権利条約カードブック」を活用してワークショップに取り組む子どもたち（カ合小）

### 【コラム】小・小連携をどう進めたらよいか

一つの中学校に複数の小学校が接続する際には、小・中学校の連携とともに小学校同士の連携が必要です。また、中学校段階の課題を直視した上で小学校段階で行うべき共通の取組の必要性を共有することも重要です。このため、中学校のリーダーシップがとりわけ重要となります。

小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引（[mext.go.jp](http://mext.go.jp)）【p.51】より

Ctrl+クリックを！